



令和2年8月31日

映像を活用した口頭指導を開始します

東京消防庁では、応急手当の実施率と救命効果の向上のため、災害救急情報センターにおいて、119番通報受付対応と並行し、通報者に対する口頭指導の強化に取り組んでいます。

現行の会話による口頭指導だけでは、傷病者の正確な容態把握や有効な応急処置の実施状況の確認が困難なケースもあることから、映像を活用した口頭指導の効果について検証を開始することといたしました。

今後、より適切な救急医療サービスの提供と積極的な応急手当の実施を促進していきます。

1 開始時期

令和2年9月9日（水）

2 導入装置

Live119

3 検証内容

- (1) 通報者からの映像提供による、傷病者の正確な容態把握
- (2) 有効な応急処置の実施状況の確認
- (3) 会話のみの口頭指導との比較検証

4 その他

活用のイメージについては、別紙のとおりです。

本件は、「『未来の東京』戦略ビジョン」を推進する先導的事業です。

戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

「火災や災害から命を守る体制強化プロジェクト」

「命をつなぐ救急救命プロジェクト」

問合せ先

東京消防庁（代） 電話 3212-2111
広報課報道係 内線 2345～2349
総合指令室管理係 内線 3746

映像通報「Live119」の活用イメージ

設置装置

特別区災害救急情報センター内に、インターネット環境を備えた専用パソコンを設置し、口頭指導要員により操作を行う。

活用イメージ

